

Taira

脳卒中に対応した
最新のリハビリテーション機器を
導入しました！



2024年の阿波踊り（院内にて開催）に参加した当院の職員たち。

当院の食事へのこだわり／常勤医師・スタッフのご紹介

地域のみなさまが いつまでも元気で、 活動できる社会に向けて



平成病院 院長
片山 直弥

平成病院は昭和62年に前身の伊豆病院を経て、平成元年に平成病院と改称し、以後38年にわたりこの地に根差して活動している歴史を持った病院です。これもひとえに地域のみなさまの温かいご理解とご支援の賜物と深く感謝を申し上げます。

現在の日本はさまざまな分野で危機的状況にあります。とりわけ人口減少の問題は喫緊の課題です。行政をはじめ、さまざまな方が対策に乗り出しているものの歯止めがきかないばかりか、減少スピードが加速しています。

昨年度（令和6年度）の日本の死亡数は160万人を超えていますが、出生数は約72万人という状況でした。実に1年間で約90万人の日本人が減少していることになり、近隣の自治体の人口と比較すると、尼崎市と西宮市の人口を合わせた規模に匹敵する数が減少していることになります。しばらくはこの状況が続くとされ、日本人は千年以内に消滅するという予測も出ています。

この現実に向き合った時、私たちが今できる唯一の速効性のある取り組みは、今ここにいる方の健康を守ることに尽きると考えています。

何歳であっても回復の可能性は残っています。高齢であることを言い訳にせず、個々人に合った適切な治療とリハビリテーションを行い、社会に復帰していただくことを平成病院は目指しています。そのために優秀なリハビリスタッフや整形外科医をはじめ、老年科に強い内科医も常勤しております。

いつまでも元気で、社会で活躍することが現実になり、即した対策といえるでしょう。また、超少子化になればなるほど、子どもは地域の宝です。高齢者医療介護に加え、昨年より小児科医も常勤しています。当院の基本理念「じぶんを生きるをみんなのものに」を具現化する平成病院をどうぞよろしく願います。

※厚生労働省「人口動態統計速報（令和6年12月分）」

スタッフ

看護部 副部長

看護師

木内 美紀子



患者さんが住み慣れた地域で、最後まで、その人らしい生活が送れるよう支援します。ともに育み、一人ひとりが大切にされていると感じられる看護を心がけています。

リハビリテーション科 部長

理学療法士

秋田 透



自分たちのやりたい医療を提供するのではなく、本当に必要とされるリハビリテーションの提供を徹底します。患者さん一人ひとりに最適な対応ができるよう、精一杯努力します。

総務課

事務長

杉野 恵子



「お互いに助けを求め、求められたら助ける」職場を目指して、相談しやすい雰囲気づくりを心がけています。職員の安心が患者さんへの思いやりにつながったらうれしいです。

検査室 係長

検査技師

森脇 奈々



患者さんの検査に対する不安やストレスが少しでも和らぐように、ゆっくりと思いやりある言葉で説明することを心がけています。また、迅速で正確なデータ提供に努めます。

放射線科 主任

診療放射線技師

河野 広和



患者さんの立場になり、コミュニケーションを大切にしたい安心・安全な検査を心がけています。また、診断に役立つ医用画像の提供に努めます。

健診センター 課長

検査技師

中村 由紀



みなさんが健診センターを快適に利用できるよう、誠意ある対応を心がけています。健康診断を通じて、みなさんの健康管理のお手伝いができることをとてもうれしく思っています。

常勤医師

内科

南 伸卓



健康診断は、健康維持のためだけでなく、生活習慣病やがんの早期発見、早期治療につながります。健診医としてみなさんの健康寿命を応援します。

放射線科

野田 聡



これからの超高齢化社会でますます重要になっていく地域包括ケアのニーズに合わせた、親切で円滑な医療の推進と、ストレスが少なく高い技術の検査を心がけてまいります。

消化器内科

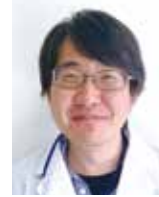
谷田 和繁



患者さんに信頼していただけるような医療の実践を心がけています。チーム医療の中でリーダーシップを発揮し、患者さんと一体になった医療を実践します。

小児科

小林 信也



昨年の秋より平成病院とのご縁に恵まれ赴任してきました。患者さんとそのご家族に寄り添った診療を心がけ、チーム医療で困りごとに向き合っていきたいと考えています。

内科

孫 志剛



人生は旅。私は旅に出て解放され、癒されてきました。そのうち自分も人に優しくできるようになりました。その優しさで患者さんを少しでも癒すことができたらうれしい限りです。

整形外科

稲岡 正裕



令和5年の夏に、風光明媚な淡路島で平成病院とのご縁をいただきました。海山の幸と人々の優しさに恵まれた環境の中で、医療に従事できることに日々感謝しています。

常勤医師・スタッフのご紹介

Brain Machine Interface (BMI)

ブレイン・マシン・インターフェース

脳卒中に対応した
最新のリハビリテーション機器を
導入しました！



2024年3月に医療機器承認を受けたLIFESCAPES社製の医療用 Brain Machine Interface (BMI)。

画像提供：株式会社LIFESCAPES

「**廃** 用手(はいようしゅ)」という言葉をご存じでしょうか？これは脳卒中を発症し、「生活の中で機能的に使うことができない」と判断された手を指します。脳卒中発症後、片麻痺を呈した患者さんの約3割が廃用手と判断されています。

私たちの目標は、少しでも手を使えるようにし、身の回りのことができるようになること、そして新たな形で社会復帰や家庭内での役割を果たせるよう支援することです。

平成病院が目指すリハビリテーションは、単に身体的な制約を軽減するだけでなく、日常生活の質(QOL)を向上させること、そして当院が所属する平成医療福祉グループのミッションである「じぶんを生きるをみんなのものに」を実現していくことを大切にしています。

私たちは、脳科学とAIが融合したブレイン・マシン・インターフェース(BMI)を活用し、脳と機械をつなぐことで脳の可塑性(治る力)を引き出します。これにより、脳卒中後の重度麻痺に対するリハビリテーションの可能性を広げ、困難に

直面している方々がその制約から解放される手助けをしたいと考えています。

誰もが自分らしい人生の景色を描けるよう、全力で支援してまいります。

BMIについて

ヘッドセットに備わる電極を頭皮に貼り付けることでリアルタイムに脳波を読み取り、それを電動装具に伝えることで、手指の運動をサポート。「動かそう」とするイメージと実際の動作が連動し、これまでは引き出すことのできなかった脳の可塑性を最大限引き出すことができます。

BMIについてのお問い合わせはこちらから



画像提供：株式会社LIFESCAPES

100歳まで元気に暮らす秘訣！

いきいき百歳体操で健康寿命を延ばしましょう。



「いきいき百歳体操」をご存じですか？この体操は、高齢者が無理なく続けられるよう工夫された運動プログラムで、筋力を維持し、転倒防止や関節の柔軟性向上を目指しています。さらに、体操を通じて地域のつながりも生まれるなど、心身両面での効果が期待できます。

当院でも毎週水曜日にいきいき百歳体操を行っていますので、ぜひご参加ください。心や体の活力を取り戻したい、いつまでも自立した生活を送りたい。みなさんの「こうありたい」が叶うよう、私たちがみなさんの健康をサポートします！

いきいき百歳体操がもたらす健康効果

いきいき百歳体操は、全身の筋肉をバランスよく鍛えることができ、以下のようなメリットが得られます。

転倒リスクの低減

足腰の筋力が強化され、日常生活の動作がスムーズに。

関節の柔軟性アップ

関節を適度に動かすことで可動域を保ち、痛みを軽減します。

心のリフレッシュ

運動による気分転換と達成感が心の健康をサポート。

地域交流の場

参加者同士のコミュニケーションを通じて、孤立感を解消し、人とのつながりが深まります。

いきいき百歳体操の参加方法とスケジュール

参加無料！

予約不要！

- 開催日：毎週水曜日
- 時間：13時～14時
- 場所：平成病院1階
(平成介護医療院1階ホール)



医療関係者の方へ

いきいき百歳体操は運動不足が気になる患者さんや、リハビリテーションが必要な人にとって、日常的に取り組みやすい選択肢です。無理なく取り組める理想的な

運動で、患者さんの体力向上や生活の質の維持に役立ちます。市内各地に会場があるので、診療の際にご案内いただくなど、ぜひ参加を勧めてみてください。

食事に関する具体的な取り組み

当院の栄養部が日々実践している、グループ独自の具体的な取り組みを四つご紹介します。

ミールラウンド

何らかの理由があって食事摂取量が低下している場合、その原因をたどるべく嗜好調査や食事形態の確認、実際の喫食状況の確認のために個々の患者さんのもとへ管理栄養士が伺います。



食事形態の検討

当院では多職種の検討により食事形態の対応や調整を行っています。患者さんの摂食嚥下状態に合った適切な食事を提供することで、安全に食べていただき、栄養状態の改善など治療につなげています。



嗜好食、付加食の提供

当院の付加食の多くは手作りで、おいしく食べられるよう工夫しています。重度の食欲不振や病状の悪化があり食事が食べられない患者さんには、持ち込み食や市販品の活用も行っています。



「楽しみ」としての食事を大事にする

患者さんにとって病院や施設での食事は、栄養の補給だけでなく、楽しみであることも忘れません。季節感があって変化に富んだ献立を工夫し、楽しい食事の時間が過ごせるよう配慮しています。



新たなメニュー開発につながる／

献立・調理コンクール

平成医療福祉グループでは献立・調理コンクールという企画を毎年行い、管理栄養士・調理師が協力してメニュー開発を行っています。優秀献立はグループの365日サイクルメニューの中に採用され、患者さんや職員へ提供されます。実際に採用された献立はこちらです。栄養価はもちろんですが、味や見た目も楽しめるメニューです。院長からはこれまでで一番おいしかったと大好評でした！



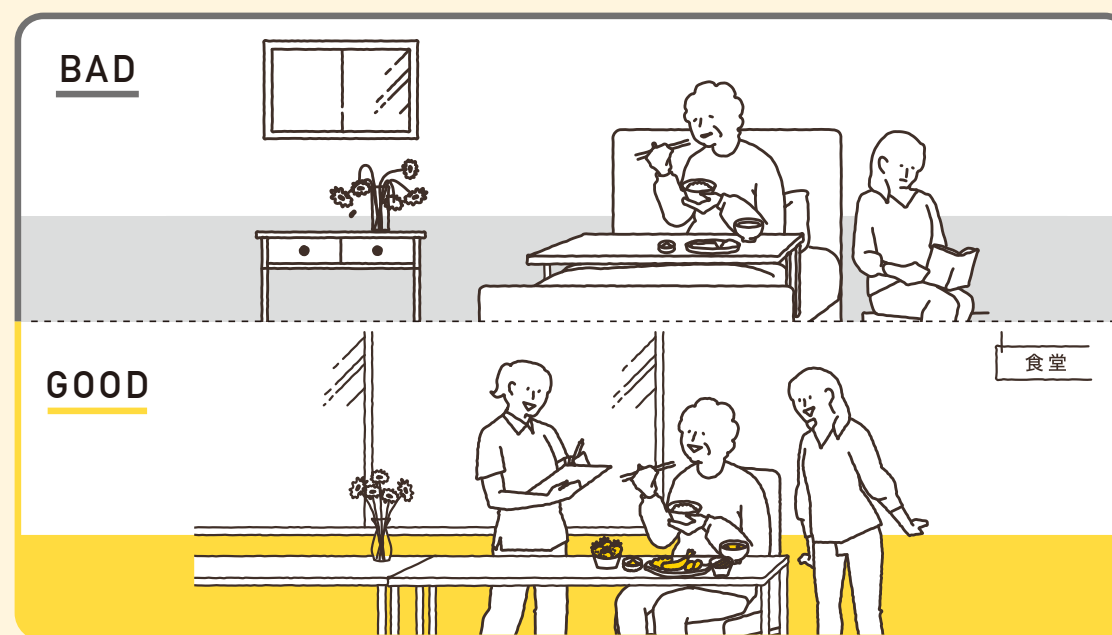
「魚」というテーマで考案された献立。卵や加工品、魚のあらも使用し、魚を満喫できます。患者さんからの何気ない日常の声を参考に、プリをはじめ冬の食材を使用したメニュー。

旬の野菜と食べる魚満喫御膳

当院の食事へのこだわり

当院が所属する平成医療福祉グループは、診療方針の一つとして「みんなにうれしい食事を提供します」を掲げています。当院でもこの方針に基づき、日々、患者さんによるこんでいただける食事の提供に努めています。

みんなにうれしい食事を提供します／



摂 取する栄養が不足していたり偏ったりしていると、病気と闘う力も、リハビリテーションにより身体機能を回復させる力も養うことができません。いくら最新の治療を行っても、栄養状態が悪ければ良好な成果は期待できません。そのためグループでは、栄養状態の改善は疾病治療と同時に進むべき極めて重要な取り組みとして位置づけています。食事が十分に摂れない患者さんに対しては、管理栄養士が訪問して声を聴き（ミールラウンド）、好みや状態に応じて食事内容をアレンジします。あらゆる状態の患者さんに適切な栄養を提供するために嚥下調整食や付加食など豊富な食形態を用意しています。付加食のバリエーションは

約80種類もあるのは、ほかにはないグループならではの長特でしょう。献立以外でも患者さんが食べたいものや食べられるものがあれば、病院で作ったり買ってきたりして対応します。家族の味なら食べられる患者さんの場合は、ご家族からの持ち込み食も受け入れます。このように、患者さんが少しずつでも食べる量が増えるように柔軟に工夫するのが、私たちの食に対する姿勢です。栄養面だけでなく「楽しみ」としての食事でも重要視してきました。年間20回の行事食や週1回の郷土料理、献立調理コンクールで入賞した食事など、季節感や変化に富んだ食事を提供。患者さんの声に耳を傾けながら、日々の食事を楽しめるよう工夫しています。

当院の健診センターで実施している



人間ドック・健康診断

総合病院の強みを生かし、検査結果で異常があった場合には、
当日もしくは後日の外来受診がスムーズに行えます。

人間ドック

健康診断よりも検査範囲が広く、より専門的に調べるため、がんなど重篤な疾患の発見・予防に役立ちます。オプションを追加することで、気になる点をさらに検査することも可能です。

健康診断

現在の基本的な健康状態を確認しながら、生活習慣病を中心とした検査を行い、そのリスクを調べます。定期的を実施することで、健康管理に役立てることができます。

協会けんぽの健康診断

年度内で一度に限り、協会けんぽが健診費用の一部を負担する健康診断です。一般的な健康診断のほか、付加健診、子宮頸がんや乳がんの検査も受けられます。

特殊健診

雇い入れの際に必要な特殊健康診断にも当センターは対応しています！

- じん肺健診
- 鉛健診
- 有機溶剤健診
- 電離放射線健診
- 特定化学物質健診

「雇い入れ・入社時健康診断」もできます。そのほかご希望の健康診断がございましたらご相談ください。

受診の流れ

1 予約と事前準備

電話やメールでご予約ください。検査に必要な書類を送付しますので、受診日までに必要事項を記入してください。

2 健診当日

指定時間に受付へお越しください。コース・オプションに合わせてご案内いたします。

3 受診後

結果票を送付いたします。結果により、再検査や外来受診が必要になる場合があります。

こんな時はバス健診をご利用ください！

病院で健康診断を受けると時間がかかって仕事に支障がでる



スタッフの人数が多くてどこの病院も予約が取りづらい



各自で健診に行ってもらうと全員が受診したのか把握できない

当健診センターのバス健診なら病院から会社までお伺いします！

ご指定の場所・時間にスタッフと専用バスがお伺いし、健康診断を実施いたします。医療機関へ出向く必要がないため、医療機関に行く時間がとれないなどの問題が解消され、就業時間への影響を最小限に抑えられます。また、事業所様にて実施するため、一日で多くの方が受診でき、検査後もすぐに業務に戻ることができます。



人間ドック、健康診断については当院Webサイトへ

平成病院 健診



健康コラム



放射線科／野田 聡

腰椎を守るために フィットネスジムに行こう！



健康寿命を脅かす「腰椎の変形」

こんにちは！私は放射線科でCT画像の読影を専門としている画像診断医です。コンピュータの発展の恩恵を受けて、少ない被爆線量でより多くの診断情報を得ることができ、CT検査は今や病院の主流の検査となっています。

私はこれまで10万例ほどの画像診断を行ってきました。今回は健康寿命について、画像診断医の立場から説明をさせていただきます。

CT検査の目的は、がんや肺炎など命を脅かすような病変を発見することにあります。しかし、今すぐ命を脅かさなくても徐々に健康を蝕んでいき、最終的にその人の健康寿命を短くしてしまう病変も存在しています。それが腰椎の変形です。

腰椎の中の空洞部分（脊柱管）の中には脊髄が通っています。脊髄は脳の一部であり、手足の運動や知覚に関するほぼすべての情報が伝達されています。残念なことに、すべての人の腰椎は年を重ねるにつれ、まるでハンバーガーを上から押しつぶしたかのように変形していき、脊柱管

はソーセージをひねるかのようになり、窄まってしまう。こうなってしまうともう元には戻りません。手足の筋肉は萎縮して動かなくなり、生活習慣病や認知症、老化が加速的に進行していき、健康寿命は大幅に短縮されてしまうのです。

腰椎の変形を抑えるには？

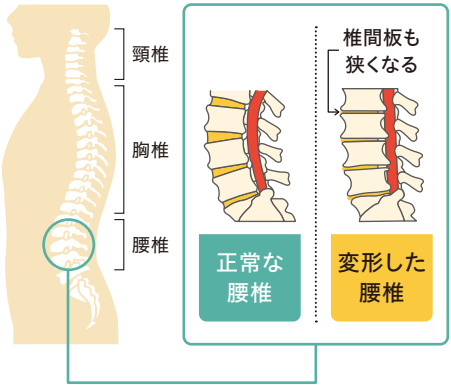
腰椎の変形は50歳くらいからほとんど進行し、運動しないことで増悪していきます。特に長時間座り続けることが良くありません。腰椎を支える筋肉が緊張しなくなり、腰椎にかかるストレスが大きくなってしまいます。

それを防ぐために大事なものは、定期的に立ち上がることで、運動習慣です。有酸素運動として1日30分程度、歩行することが良いとよく言われています。それはまったくその通りです。さらに言うと、一定の速さで歩くのではなく、早歩きをしたりゆっくり歩いたりすることを繰り返すと、歩行運動の効果が上がります。

しかし、住んでいる場所や季節によつては道路を歩くことが困難な

場合があるでしょう。そんな場合はフィットネスジムに通うことをおすすめします。最近のフィットネスジムにはバーベルだけでなく、最新のウオーキングマシンやトレーニングマシンが備わっており、冷暖房も完備されています。有酸素運動だけではなく、マシントレーニングで脚や腰の周りの大きな筋肉を鍛える無酸素運動もまた、腰椎の変形を防ぐために効果的です。会費はかかってしまいますが、それも健康への投資。運動は腰椎のためだけでなく、がん予防や生活習慣病の改善、腎不全の改善にも効く、いわば万能薬なのですから。

※腰椎に持病のある方は運動の前に一度専門医にご相談ください。



腰痛 や 骨粗しょう症 で

お悩みの方は、当院の外来へ！

当院には腰痛に関する知識が豊富な認定理学療法士、骨粗鬆症マネージャーが所属しています。腰痛でお悩みの方は整形外科、骨粗しょう症が心配な方は総合診療科を受診ください。腰痛の治療には、鍼灸マッサージ師による鎮痛治療を行うこともできます。

基本理念

じぶんを生きる を みんなのものに

基本方針

- ・患者中心の医療、福祉サービスを提供します。
- ・患者のQOLの向上のために努力をします。
- ・医療、看護、介護技術の質の向上に常に努力します。
- ・地域との連携を大切にします。
- ・医療従事者としての自覚を持ち、自己の研鑽に努めます。



介護医療院

デイケア

専門外来

新型機械浴

「araeru(アラエル)」で心地良い入浴体験を！

通所系サービスにおいて入浴は大きな目的の一つ。職員の介助や見守りのもと安全に清潔を保つことができるので、楽しみにされている利用者さんも多いです。最新式の機械浴を導入することで、ご利用される方のお身体の状態に合わせて入浴できます。



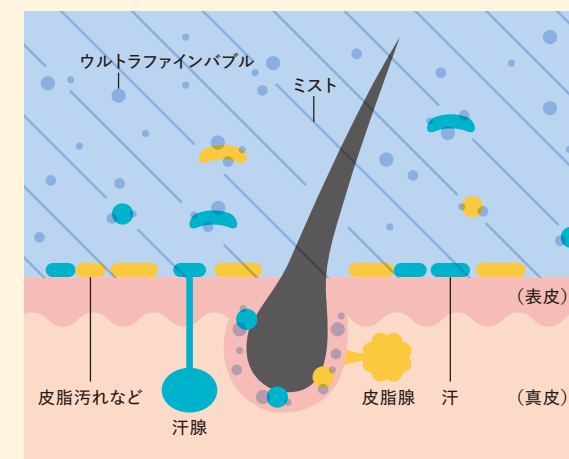
「温まる」から
「キレイに温まる」に
アップデート！

これまでは、患者さんがシャワーチェアに座った状態で浴槽にスライドし、下からお湯が溜まっていくのが一般的な機械浴でした。

しかし、新たに導入した「araeru(アラエル)」は、お湯に浸かるのではなく、ミストとシャワーで温まるドーム型の新しい入浴設備です。

ウルトラファインバブルとは？

直径が1 μ m(マイクロメートル)未満の肉眼では見えない泡がシワや毛穴の奥まで入り込み、汚れをしっかりと落とします。



お湯に浸からなくても、従来の貯湯式と比べてドームの気密性とシャワーの効果により、入浴後の体温をより長く保つことができます。

また、CMでも話題の「ウルトラファインバブル」によって、シャワーを浴びるだけで皮膚表面や毛穴の汚れがキレイになります。さらに、掛け流しの清潔なお湯を使用するため、床ずれのある方や排せつに不安のある方も、安心してご利用いただけます。

解放感のある広々としたデイルームで
元気に楽しく過ごしてください！

当院のデイケアは、一人で地道に体を動かすだけの場所ではありません。数名の利用者さんと一緒に、楽しく体を動かしたり頭の体操を行ったりもします。もちろん、リハビリ職員の指導のもと、個別で集中してリハビリテーションを行うことも可能です。また、その日の体調に合わせて運動はしないで会話を楽しんだり、さまざまなレクリエーションに参加したりするなど、過ごし方は利用者さんの自由です。



地域医療連携センターのご案内

私たちがお答えします！



入退院のお困りごとは、私たちがサポートします！

地域医療連携センターでは、入院の相談や退院の支援を行っています。「退院に支援なんて必要なの？」と思うかもしれませんが、入院前の生活と退院後の生活がまったく変わらないという方は本当に少ないのです。そのため、私たちは病院内の多職種スタッフや、患者さんに関わる地域の関係機関と情報を共有しながら、できるだけ長く住み慣れたご自宅で生活できるようにサポートしています。入院中の不安なことや、入院前の小さな心配ごとに対しても真摯に向き合い、丁寧な説明と、安心できる支援を心がけています。お気軽にご相談ください。

いつでもお気軽にお声がけください！

📞 0799-42-5335

受付時間 9:00～17:00(月～土曜日)



ご相談内容

- ✓ 入退院のご相談
- ✓ 介護保険などのご相談
- ✓ 各種医療機関、診療所、福祉施設からのご相談
および診療紹介・検査紹介・逆紹介の支援
- ✓ 療養におけるさまざまなご相談
- ✓ 当院へのご意見・ご要望など

入院病棟のご案内

回復期リハビリテーション病棟

リハビリテーションに特化した専門病棟です。多職種によるチームで質の高いリハビリテーションを提供、心身の回復を図り早期の在宅復帰を目指します。

38床

医療療養病棟

急性期医療の治療後も療養が必要な方を受け入れます。ご自宅や施設への復帰を目標に、集中的な治療と積極的なリハビリテーションを施し、早期復帰をサポートします。

99床

平成介護医療院について

「充実した医療的ケア+手厚い介護サービス」の機能を併せ持ち、医療ニーズの高い要介護高齢者のための長期療養・生活施設として創設された介護保険施設です。

●入所定員: 53名

●居室:

個室/10室

多床室/2人部屋 20室

3人部屋 1室

●ご利用可能な方:

要介護認定で、
要介護1～5と
認定された方



■診療科目 内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・小児科・
リハビリテーション科・整形外科・放射線科

■外来受付時間 月～土曜
午前 9:00～12:00 / 午後 14:00～17:00

■休診日 日曜祝日・年末年始
※詳細については休診のご案内をご確認ください。

当院の
Webサイトは
こちら

〒656-0442 兵庫県南あわじ市八木養宜中173

☎ 0799-42-5335 📠 0799-42-5027

✉ info@heiseihp.jp

